



「森ラジオステーション」/木村崇人

Photo: MATHRAX

入館料：鑑賞パスポート 500円（個別鑑賞券もあり）

主催：中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス実行委員会

協力：小湊鐵道株式会社、市原市農業協同組合、（一社）市原市観光協会

お問合せ先：中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス実行委員会

電話：0436-23-7005 <http://ichihara-artmix.jp/>

回覧

晴れたら市原

行こう

アートいちほら

2016春

会期：2016年5月3日[火・祝]－8日[日]の6日間

第2回いちほらアート×ミックス 2017年春に開催予定!!

首都圏近郊の里山や廃校を舞台にした現代アートの祭典です。

いちはらアート×ミックスとは

第2回
いちはらアート×ミックス
2017年春に開催!

●アート×ミックスとは?

市原市南部の里山や廃校を舞台にした現代アートの祭典です。

多様な要素が混在(ミックス)する市原での、アートを介した協働による、多様な人々の交流・交感(ミックス)

●目的は?

人口減少・少子高齢化が進み、小学校の統廃合などの課題が発生している市原市南部地域を活性化させるためにスタートしました。アート×ミックスと地元の人々や産業を結びつけ、地域の活力を維持・発展させることで、南部から市全体への活性化が広がり、産業振興へと波及させていくことを目指し、実施しています。

●なぜアート?

市原市の南部地域では、10年ほど前から、小湊鉄道の沿線を菜の花で満開にさせる「花プロジェクト」や駅舎を彩るイルミネーション、個人ギャラリーの運営、それらを紹介する『南市原ギャラリーマップ』の発行など、市民によるアートに関する取り組みが盛んでした。このような動きを背景に、地域の皆さん、民間事業者、行政が一緒になって、現代アートを用いた地域活性化に取り組み始めました。

●アートで本当に活性化するのは?

市原市は、首都圏から1時間程度の位置にありながら、日本の原風景ともいわれる美しい里山が残っています。小湊鉄道沿線を中心に、春には桜や菜の花が咲き誇り、秋には山々が紅葉で彩られ、全国から多くのカメラマンや観光客が訪れています。また、関東の駅100選に選ばれる駅舎もあり、アクセスの良さからCM撮影やテレビ番組に取り上げられ、注目を集めています。

この豊かな資源をアートを介して活用することで、市原に足を運んでくれる方を増やし、また、市民の皆さんに市原市の事をもっと知ってもらうきっかけになると考え、取り組んでいます。

アートによる活性化を実現しつつある例は幾つかありますが、一例として、JA市原市女性部のお母さん方が運営するカフェ「おもいでの家」があります。前回の2014年のアート×ミックスでは、養老溪谷の会場で、アーティストと一緒にレストランを運営しました。会期後も定期的にカフェを自主運営しており、地元の食材をふんだんに使った定食やおしるこを振る舞っています。訪れた観光客のおもてなしを通じ、お母さん方のやりがいも膨らんできています。

また、月崎駅前の「森ラジオステーション」(裏面写真)は、前回のアート×ミックスで小湊鉄道保線員のかつての詰所小屋を苔と山野草で覆った作品です。会期後は取り壊される予定でしたが、周辺住民の方々が管理団体「森遊会」を自主的に立ち上げてくれました。季節毎に豊かに表情を変える作品を見に訪れる人々と、交流を楽しんでいます。今では、そのおとぎの国の様な雰囲気を買われ、映画のロケ地としても使われるようになり、アート×ミックスで生まれた地域資源になっています。

●第2回いちはらアート×ミックスに向けて (2017年春開催予定)

アート×ミックスは、地域活性化から市民の力をより向上させる一つのきっかけです。

市原市民と市外からのアーティストやボランティアの方が交流していくことで、徐々にではありますが、人と人、人と地域が繋がり、新しいコミュニティが生まれてきています。前回の成果を維持、発展させていくため、2017年春に第2回アート×ミックスを開催します。



アートいちはら2016春

開催日: 5月3日(火・祝)~8日(日)の6日間

2017年春開催の「第2回いちはらアート×ミックス」に繋げていくイベントとして開催します。
新緑と花に彩られた美しい里山へ、ぜひお気軽にお越しください!

- ◆会場 IAAES[旧里見小学校](市原市徳氏541-1)
月出工舎[旧月出小学校](市原市月出1045)
アートハウスあそびらの谷(市原市朝生原1083-1)
市原湖畔美術館(市原市不入75-1)
内田未来楽校[旧内田小学校](市原市宿174-8)
森ラジオステーション(市原市月崎539 月崎駅前)
- ◆鑑賞料 鑑賞パスポート500円(個別鑑賞券もあります)
中学生以下無料
障がい者手帳をお持ちの方と介添者(1名)無料
- ◆交通 一部会場を巡回する無料周遊バスを運行
- ◆駐車場 各会場周辺に無料駐車場あり

「刺繍カフェ てふてふ」 アーティスト:キジマ真紀
会場:内田未来楽校[旧内田小学校]

カフェで出会った人達と少しお喋りしながら、図鑑には載っていない手作りの蝶々を作るワークショップ。布に自由に蝶々を描き、色とりどりの糸でチクチク縫ったり、自分の好きな模様の布やボタンを貼り付ける。作られた蝶々は、来春の「アート×ミックス2017」の作品の一部となります。



IAAES[旧里見小学校]では、「おにぎりのための運動会」を開催予定です。

他の会場でも、様々な現代アート作品の展示、体験型のワークショップなどを行います。



詳細はウェブサイト、フェイスブックで公開していきます。

【お問合せ】 中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス実行委員会事務局 (市原市 観光振興課 国際芸術祭室内)

TEL 0436-23-7005 | HP <http://ichihara-artmix.jp> | <https://www.facebook.com/artmix2014>